２０２３年度
シラバス

医薬品総合学科

HOKUTO　GAKUEN
学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校

２年生開講科目

授業科目	授業時数	実務経験授業科目	頁
パソコン演習Ⅱ	60		1
一般教養Ⅱ	60		3
手話	30		5
登録販売者Ⅱ	90	○	6
調剤請求事務	150		9
一般用医薬品	30	○	14

授業科目	授業時数	実務経験授業科目	頁
疾病医学	60	○	15
栄養学	30	○	17
応急処置	30		18
基礎美容学	30		19
介護情報	30	○	20
実務実習Ⅳ	240		21

実務経験のある教員が実施する授業科目の合計授業時数	240時間

科目名	パソコン演習Ⅱ	担当教員	佐々木　仁 佐々　順子			評価の方法	（前期）実技試験 （後期）レポート	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	4単位			
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	演習	授業回数	60回			
テキスト・参考文献	Microsoft Power Point2016 クイックマスター（ウイネット） ３０時間でマスター　Excel2016（実教出版）							
授業概要	前期：PowerPoint2016の基本操作を学習し、プレゼンテーション企画、発表用資料の作成を行う 後期：Microsoft Excel2016の基本操作を学習し、業務に活かせるスキルを養う							
到達目標	・業務現場の企画立案の際のプレゼンテーションに活かせるスライド作成の知識、技能を身につける ・Microsoft Excelを目的に応じて使いこなせる知識、技能を身につける							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	オリエンテーション 第１部　基本操作編	授業に臨む心構え、科目の目標、授業概要、 個人用のフォルダ作成等その他 Chapter１　PowerPonitの基本操作
3 4	第１部　基本操作編	Chapter２ プレゼンテーションの作成 Chapter２　練習問題
5 6	第１部　基本操作編	Chapter３ 文字やスライドの編集 Chapter３　練習問題
7 8	第１部　基本操作編	Chapter４ オブジェクトの作成 Chapter４　練習問題
9 10	第１部　基本操作編	Chapter５ 表やグラフの作成 Chapter５　練習問題
11 12	第１部　基本操作編	Chapter６ 表示効果とハイパーリンク Chapter７ スライドショーの実行
13 14	第１部　基本操作編	Chapter６ 表示効果とハイパーリンク Chapter７ スライドショーの実行
15 16	第３部　問題演習	総合学習問題
17 18	第３部　問題演習	総合学習問題
19 20	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成
21 22	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成
23 24	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成
25 26	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成
27 28	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成
29 30	課題（企画と作成）	ドラッグストアで販売する関連商品のプレゼンテーション作成

科目名	パソコン演習Ⅱ	担当教員	佐々木　仁 佐々　順子			評価の方法	（前期）実技試験 （後期）レポート	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	4単位			
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	演習	授業回数	60回			

授業コマ数	テーマ	内容
31 32	Ｅｘｃｅｌの基礎知識・入門	授業概要の説明・パソコン室の利用上の注意 個人用のフォルダ作成等
33 34	Ｅｘｃｅｌの基礎知識・入門	画面構成、簡単な表、グラフの作成、印刷、連続データの入力など
35 36	Ｅｘｃｅｌの基礎知識・入門	画面構成、簡単な表、グラフの作成、印刷、連続データの入力など
37 38	ワークシートの活用①	削除、挿入、移動、編集、罫線
39 40	ワークシートの活用①	削除、挿入、移動、編集、罫線
41 42	ワークシートの活用②	絶対参照、表示形式、関数、条件付き書式、スパークラインなど
43 44	ワークシートの活用②	絶対参照、表示形式、関数、条件付き書式、スパークラインなど
45 46	グラフ	グラフの作成
47 48	グラフ	グラフの作成
49 50	データベース	並べ替え、抽出、条件など
51 52	データベース	並べ替え、抽出、条件など
53 54	実習問題	画面構成、簡単な表、グラフの作成、印刷、連続データの入力など
55 56	実習問題	絶対参照、表示形式、関数、条件付き書式、スパークラインなど
57 58	実習問題	絶対参照、表示形式、関数、条件付き書式、スパークラインなど
59 60	実習問題	データベース

科目名	一般教養Ⅱ	担当教員	本田　俊夫			評価の方法	試験（筆記）	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	４単位			
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	60回			
テキスト・参考文献	2022年度版 ニュース検定公式テキスト&問題集『時事力』基礎編(3・4級対応)ニュース検定							
授業概要	演習・解説を通じ、人文科学・社会科学・自然科学に関する基礎力を高め、教養・一般常識の力をつける。							
到達目標	社会人として身につけるべき知識、教養の復習と向上を図るとともに、就職活動につながる一般常識を学ぶ。							

授業コマ数	テーマ	内容	
1 2	国語の知識①	漢字の読み・書き	演習・解説
3 4	国語の知識②	四字熟語・ことわざ・慣用句	演習・解説
5 6	国語の知識③	同義語・対義語	演習・解説
7 8	数学の知識①	文章題　損益算、濃度算	演習・解説
9 10	数学の知識②	文章題　旅人算、通過算	演習・解説
11 12	数学の知識③	集合、推論	演習・解説
13 14	数学の知識④	グラフと領域	演習・解説
15 16	演習①	SPI確認問題1	
17 18	演習②	SPI確認問題2	
19 20	理科の知識①	物理　電流	演習・解説
21 22	理科の知識②	仕事とてこ・滑車	演習・解説
23 24	演習①	SPI確認問題1	
25 26	演習②	SPI確認問題2	
27 28	社会の知識①	人文科学　世界地理①	演習・解説
29 30	社会の知識②	人文科学　世界地理②	演習・解説

科目名	一般教養Ⅱ	担当教員	本田　俊夫			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	４単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	60回			

授業コマ数	テーマ	内容
31 32	社会の知識③	社会科学　政治（民主主義、憲法）　演習・解説
33 34	社会の知識④	社会科学　地方自治　演習・解説
35 36	社会の知識⑤	社会科学　財政　演習・解説
37 38	国語の知識④	国語常識　演習・解説
39 40	国語の知識⑤	文章整序、内容吟味　演習・解説
41 42	理科の知識③	生物の恒常性①　代謝　演習・解説
43 44	理科の知識④	生物の恒常性②　神経・ホルモン　演習・解説
45 46	理科の知識④	生物津の恒常性③　免疫　演習・解説
47 48	社会の知識⑥	時事問題①　演習・解説
49 50	社会の知識⑦	時事問題②　演習・解説
51 52	社会の知識⑧	時事問題③　演習・解説
53 54	社会の知識⑨	時事問題④　演習・解説
55 56	社会の知識⑩	時事問題④　演習・解説
57 58	社会の知識⑪	時事問題⑥　演習・解説
59 60	社会の知識⑫	時事問題⑦　演習・解説

科目名	手話	担当教員	菅原　伸哉			評価の方法	試験（筆記）	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	後期	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	印刷したテキスト（手話入門ほか）							
授業概要	手話による学習を通して、音声無しに目で情報を受け取る力を養い、また、それを活かした接客時の対応を学ぶ。							
到達目標	聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑にし、医療従事者として対応できるようにする。							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	つたえあってみましょう① 名前を紹介しましょう	聴覚障害者のコミュニケーションにはいろいろな方法(手話・指文字・空書・身振り)があることを知る。挨拶の手話を覚える。 自分の名前を色々な方法で表現してみる。
3 4	つたえあってみましょう② 数字を使って話しましょう①	手の形や動きをよく見てまねる。 誕生日・歳の表し方を知る。いろいろな数字を正確に表す。
5 6	数字を使って話しましょう② 家族を紹介しましょう	誕生日・歳の表し方を知る。いろいろな数字を正確に表す。 疑問詞「いつ」「いくつ」「いくら」の使い方を覚えて会話してみる。 人物の表現の基礎となる手話を学ぶ。 疑問詞「だれ」の使い方を覚えて会話してみる。
7 8	趣味や仕事について話しましょう①	今まで学習した疑問詞も使って、自分の身近な話題について会話する。手話単語だけにこだわらず、見て分かるよう身振り・表情などの工夫もしてみる。
9 10	趣味や仕事について話しましょう②	今まで学習した疑問詞も使って、自分の身近な話題について会話する。手話単語だけにこだわらず、見て分かるよう身振り・表情などの工夫もしてみる。
11 12	あなたの家を紹介しましょう	地名・建物などの手話を学ぶ。 「どこ？」の手話の使い方を知る。
13 14	「どこ？」の会話をしましょう 自己紹介まとめ	空間を使って位置関係や距離感を表す事を学ぶ。 これまで学習したことを復習し、みんなで自己紹介する。
15 16	時の表し方を覚えましょう①	時の表し方、疑問詞「何時？」の使い方を学ぶ。
17 18	時の表し方を覚えましょう②	時の表し方、疑問詞「何時？」の使い方を学ぶ。
19 20	○○会のお知らせについて話しましょう	疑問詞「いくら」「いくつ」「何人」「どこ」「何時」を使って数に関する話題を中心に会話を発展させる。
21 22	接客手話①	医療現場で使用する接客手話を中心に学習する。
23 24	接客手話②	事例検討を通して接客時の対応を学ぶ。
25 26	簡単な会話①	今まで学習してきた手話を使って、簡単な会話文を練習する。
27 28	講義①「コミュニケーション方法」 講義②「筆談についての学習」	手話の学習のみならず、聴覚障害についての理解を深める。 手話以外のコミュニケーション方法を学ぶ。 聴覚障害者への明確な伝え方を学ぶ。
29 30	感想まとめ「手話を学んでの感想」 復習まとめ	聴覚障害および聴覚障害者について感じたことなどを作文する。 今まで学習したことを活かして、楽しく表現してみる。

科目名	登録販売者Ⅱ	担当教員	佐藤　亨			評価の方法	試験（筆記）	70%
実務経験授業科目 ○	ドラッグストアー及び薬局において店長以上の現場経験があり、当該科目に関する業務に従事した経験を持つ教員が登録販売者の制度や試験対策について講義する。						受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	前期	単位数	6単位			
必修・選択	必修			授業時間数	90時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	90回			
テキスト・参考文献	登録販売者試験対策（日本薬業研修センター）令和4年改訂版　受験対策共通テキスト過去問題（2021年度）							
授業概要	登録販売者試験に直結する手引きを全て学び、試験対策練習問題を行う							
到達目標	登録販売者試験全員合格							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	第４章　薬事関連法規・制度	医薬品の分類・取扱い等　医薬品の定義と範囲
3 4	第４章　薬事関連法規・制度	医薬品の分類・取扱い等　容器・外箱等への記載事項
5 6	第４章　薬事関連法規・制度	医薬品の販売許可
7 8	第４章　薬事関連法規・制度	リスク区分に応じた情報提供
9 10	第４章　薬事関連法規・制度	医薬品販売に関する法令　適正な販売広告
11 12	第４章　薬事関連法規・制度	行政庁の監督指導
13 14	第４章　薬事関連法規・制度	苦情窓口
15 16	第４章　薬事関連法規・制度	別表
17 18	第４章　薬事関連法規・制度	関係条文
19 20	第４章　薬事関連法規・制度	まとめ（第４章）
21 22	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用情報　添付文書の読み方
23 24	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	製品表示の読み方
25 26	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	安全性情報等　その他の情報
27 28	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	購入者等に対する情報提供への応用
29 30	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の安全対策

科目名	登録販売者Ⅱ	担当教員	佐藤　亨			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	前期	単位数	6単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	90時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	90回			

授業コマ数	テーマ	内容
31 32	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の安全対策
33 34	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の副作用等による健康被害の救済
35 36	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	一般用医薬品に関する主な安全対策
37 38	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	医薬品の適正使用のための啓発活動
39 40	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	別表
41 42	第５章　医薬品の適正使用・安全対策	まとめ（第５章）
43 44	過去問題対策	令和3年北海道・東北地区過去問題
45 46	過去問題対策	令和3年北海道・東北地区過去問題
47 48	過去問題対策	令和3年東京地区過去問題
49 50	過去問題対策	令和3年東京地区過去問題
51 52	過去問題対策	令和3年北関東地区過去問題
53 54	過去問題対策	令和3年北関東地区過去問題
55 56	過去問題対策	令和3年大阪地区過去問題
57 58	過去問題対策	令和3年大阪地区過去問題
59 60	過去問題対策	令和2年中国地区過去問題

科目名	登録販売者Ⅱ	担当教員	佐藤　亨			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	前期	単位数	6単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	90時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	90回			

授業コマ数	テーマ	内容
61 62	過去試験対策	令和3年中国地区過去問題
63 64	過去試験対策	令和3年九州・沖縄地区過去問題
65 66	過去試験対策	令和3年九州・沖縄地区過去問題
67 68	過去試験対策	令和2年過去問題（全国）
69 70	過去試験対策	令和2年過去問題（全国）
71 72	過去試験対策	令和2年過去問題（全国）
73 74	過去試験対策	令和2年過去問題（全国）
75 76	総まとめ	出題変更箇所・注意点
77 78	総まとめ	出題変更箇所・注意点
79 80	模擬試験対策	不得意分野を重点的に行う
81 82	模擬試験対策	不得意分野を重点的に行う
83 84	模擬試験対策	不得意分野を重点的に行う
85 86	模擬試験対策	不得意分野を重点的に行う
87 88	最終確認要点チック	総まとめ
89 90	最終確認要点チック	総まとめ

科目名	調剤報酬請求事務	担当教員	伊藤　充宣			評価の方法	試験（筆記）	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	10単位			
必修・選択	必修			授業時間数	150時間			
配当年次	2年	授業形態	講義演習	授業回数	150回			
テキスト・参考文献	調剤報酬請求事務専門士メインテキスト（調剤報酬請求事務専門士検定協会）							
授業概要	調剤報酬の点数算定からレセプト作成まで必要な知識を習得する。医療保険・公費・労災保険・介護保険等の基礎知識を身につける。							
到達目標	調剤報酬請求事務専門士３～２級を取得する。							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	オリエンテーション 1年次の復習	準備物、目標検定、授業の進め方について 医療保険制度
3 4	1年次の復習	医療保険制度
5 6	薬剤料の計算	内服薬・頓服薬・外用薬の計算
7 8	薬剤料と調剤料の計算	内服薬調剤料・頓服薬調剤料・外用薬調剤料
9 10	調剤基本料と薬剤服用歴管理指導料	調剤基本料、後発医薬品調剤体制加算、薬剤服用歴管理指導料
11 12	処方箋練習問題	簡単なレセプト作成 処方箋問題集1・2
13 14	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（麻薬、向精神薬） 処方箋問題集3
15 16	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（一包化加算、自家製剤加算、地域支援体制加算） 処方箋問題集4
17 18	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（受付時間による加算） 処方箋問題集5・6
19 20	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（計量混合調剤加算） 処方箋問題集7・8
21 22	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（乳幼児加算）、薬剤料（力価からの計算） 処方箋問題集9・10
23 24	調剤技術基本料 処方箋練習問題	加算（嚥下困難者用製剤加算） 処方箋問題集11・12
25 26	調剤技術基本料 処方箋練習問題	在宅患者訪問薬剤管理指導料 処方箋問題集13・18・20
27 28	調剤技術基本料 処方箋練習問題	注射薬の算定・処方箋問題集14 かかりつけ薬剤師指導料・処方箋問題集16
29 30	薬剤服用歴管理指導料の加算 処方箋練習問題	加算（麻薬、重複投薬・相互作用等防止加算、特定薬剤管理指導加算、乳幼児服薬指導加算）

科目名	調剤報酬請求事務	担当教員	伊藤　充宣			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	10単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	150時間			
配当年次	2年	授業形態	講義 演習	授業回数	150回			

授業コマ数	テーマ	内容
31 32	調剤技術基本料 処方箋練習問題	分割調剤 処方箋問題集15・25
33 34	処方箋練習問題	処方箋問題集17・19・21
35 36	処方箋練習問題	処方箋問題集22・23・24
37 38	処方箋練習問題	処方箋問題集27・28・30
39 40	検定対策（実技問題）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
41 42	検定対策（実技問題）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
43 44	検定対策（実技問題）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
45 46	検定対策（実技問題）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
47 48	検定対策（学科問題）	点数（調剤基本料、地域支援体制加算、 後発医薬品調剤体制加算）
49 50	検定対策（学科問題）	点数（分割調剤、受付時間に対する加算、調剤料）
51 52	検定対策（学科問題）	点数（自家製剤加算、計量混合調剤加算、一包化加算、無菌製剤処理加算、麻薬の加算、在宅患者調剤加算）
53 54	検定対策（学科問題）	点数（薬剤服用歴管理指導料、かかりつけ薬剤師指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料、服薬情報提供料、 外来服薬支援料）
55 56	検定対策（学科問題）	点数（重複投薬・相互作用等防止加算、特定薬剤管理指導加算、乳幼児服薬指導加算、在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料）
57 58	検定対策（学科問題）	点数（退院時共同指導料、薬剤、力価、特定保険医療材料料、明細書記載要綱）
59 60	検定対策（学科問題）	医薬品の定義、医薬品医療機器等法、特殊医薬品の取り扱い、の規制、薬の基礎知識

科目名	調剤報酬請求事務	担当教員	伊藤　充宣			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	10単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	150時間			
配当年次	2年	授業形態	講義 演習	授業回数	150回			

授業コマ数	テーマ	内容
61 62	検定対策（学科問題）	処方箋の流れ、医療の知識、医療保険（高額療養費・保険外併用療養費）
63 64	検定対策（学科問題）	公費
65 66	検定対策（学科問題）	介護保険、労災保険、自賠責保険
67 68	検定対策（学科問題）	療養担当規則、レセプト、調剤録、薬歴簿
69 70	検定対策（学科問題）	その他（個人情報等）
71 72	検定対策（学科問題）	予備
73 74	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
75 76	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
77 78	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
79 80	前期末試験対策	レセプト作成、学科の問題
81 82	前期末試験対策	レセプト作成、学科の問題
83 84	前期末試験対策	レセプト作成、学科の問題
85 86	検定対策（実技問題）　復習	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
87 88	検定対策（実技問題）　復習	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて
89 90	検定対策（実技問題）　復習	調剤報酬請求事務専門士3級　過去問題にて

科目名	調剤報酬請求事務	担当教員	伊藤　充宣			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	10単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	150時間			
配当年次	2年	授業形態	講義 演習	授業回数	150回			

授業コマ数	テーマ	内容
91 92	検定対策（学科問題）　復習	点数（調剤基本料、地域支援体制加算、 後発医薬品調剤体制加算）
93 94	検定対策（学科問題）　復習	点数（分割調剤、受付時間に対する加算、調剤料）
95 96	検定対策（学科問題）　復習	点数（自家製剤加算、計量混合調剤加算、一包化加算、無菌製剤処理加算、麻薬の加算、在宅患者調剤加算）
97 98	検定対策（学科問題）　復習	点数（薬剤服用歴管理指導料、かかりつけ薬剤師指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料、服薬情報提供料、 外来服薬支援料）
99 100	検定対策（学科問題）　復習	点数（重複投薬・相互作用等防止加算、特定薬剤管理指導加算、乳幼児服薬指導加算、在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料）
101 102	検定対策（学科問題）　復習	点数（退院時共同指導料、薬剤、力価、特定保険医療材料料、明細書記載要綱）
103 104	検定対策（学科問題）　復習	医薬品の定義、医薬品医療機器等法、特殊医薬品の取り扱い、の規制、薬の基礎知識
105 106	検定対策（学科問題）　復習	処方箋の流れ、医療の知識、医療保険（高額療養費・保険外併用療養費）
107 108	検定対策（学科問題）　復習	公費
109 110	検定対策（学科問題）　復習	介護保険、労災保険、自賠責保険
111 112	検定対策（学科問題）　復習	療養担当規則、レセプト、調剤録、薬歴簿
113 114	検定対策（学科問題）　復習	その他（個人情報等）
115 116	検定対策（学科問題）　復習	予備
117 118	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
119 120	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・3級　過去問題にて

科目名	調剤報酬請求事務	担当教員	伊藤　充宣			評価の方法	試験（筆記）	70%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	10単位		受講態度	30%
必修・選択	必修			授業時間数	150時間			
配当年次	2年	授業形態	講義演習	授業回数	150回			

授業コマ数	テーマ	内容
121 122	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
123 124	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
125 126	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
127 128	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
129 130	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
131 132	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
133 134	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
135 136	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
137 138	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
139 140	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
141 142	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
143 144	検定対策（実技・学科）	調剤報酬請求事務専門士3級・2級　過去問題にて
145 146	1年間の復習	レセプト作成練習問題
147 148	1年間の復習	レセプト作成練習問題
149 150	1年間の復習	レセプト作成練習問題

科目名	一般用医薬品	担当教員	小貫　今日子			評価の方法	試験（筆記）	80%
実務経験授業科目 ○	調剤薬局などにおいて、管理薬剤師、認定薬剤師の経験も踏まえて、当該科目に関する業務に従事した経験者の教員が、登録販売者としての基礎知識を講義する。						受講態度	20%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	後期	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	今日のOTC薬（南江堂）、実践OTC薬学（薬事日報社）等							
授業概要	医薬品分類別に、作用効果、副作用、販売時の注意点等を学ぶ。配布プリントにて対応。							
到達目標	登録販売者として、セルフメディケーションの意義と目的を理解して、地域医療に貢献できる人材育成							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	一般用医薬品の概要	セルフメディケーションとOTC薬、治療目的
3 4	一般用医薬品の概要	小児・妊婦・高齢者に対するOTC薬の注意点等
5 6	一般用医薬品の概要	OTC薬の安全使用のための注意点等
7 8	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（１）解熱鎮痛薬
9 10	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（２）鎮咳去痰薬
11 12	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（３）かぜ薬
13 14	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（４）口腔咽喉薬・口内炎
15 16	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（５）胃腸薬
17 18	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（６）便秘と下痢の薬
19 20	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（７）外皮用薬・皮膚疾患
21 22	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（７）外皮用薬　　消炎鎮痛薬
23 24	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（８）口唇ヘルペス　その他
25 26	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（９）眼科用薬
27 28	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（１０）滋養強壮薬
29 30	一般用医薬品（薬効別医薬品）	（１１）漢方薬の基礎知識

科目名	疾病医学	担当教員	小林　恵子			評価の方法	試験(筆記)	80%
実務経験授業科目 ○	看護師の免許を持ち、臨床経験を活かし病気の概要、症状、予防に関して疾患を持つ患者の生活も踏まえて講義する。						受講態度	20%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	4単位			
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	60回			
テキスト・参考文献	イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき第3版							
授業概要	医学基礎の解剖と生理学を復習しながら各器官系の主要な病気を学ぶ。							
到達目標	登録販売士試験の医学系基礎問題の理解し主要な病気の概要を習得すると共に健康な生活と運動について理解する。							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	各器官系の病気と症状	各器官の役割と病気と症状について
3 4	循環器系基礎問題	循環器系構造と機能基礎問題　解説と解答
5 6	循環器系疾患問題	心疾患問題(心不全、冠状動脈疾患等)解説と解答
7 8	血液系基礎問題	血液基礎問題　解説と解答の導き方
9 10	血液疾患問題	血液疾患(貧血　再生不良性貧血　血液凝固異常等)解説と解答
11 12	呼吸器系基礎問題	呼吸器基礎問題解説と解答COPD 気管支喘息　肺炎　結核
13 14	呼吸器疾患問題	呼吸器疾患(COPD 気管支喘息　肺炎　結核)　解説と解答
15 16	神経系基礎問題	神経系構造機能基礎問題　解説と解答中枢障害と末梢障害の病気と症状
17 18	神経系疾患問題	神経系疾患問題(中枢神経と末梢神経疾患)解説と解答
19 20	感覚器系基礎問題	感覚器系構造と機能基礎問題
21 22	感覚器系疾患問題	感覚器系疾患(目、耳、皮膚等)過去問題解説
23 24	消化器系①基礎問題(消化管)	口腔から胃　構造と機能基礎問題　解答と解説
25 26	消化器系②基礎問題(消化管)	小腸と大腸　構造と機能基礎問題　解答と解説
27 28	消化菅疾患基礎問題	消化菅疾患(口～肛門)　過去問題の解説と解答の導き方
29 30	消化器菅疾患基礎問題	消化器疾患(肝臓、胆嚢、膵臓)過去問題の解説と解答の導き方

科目名	疾病医学	担当教員	小林　恵子			評価の方法	試験(筆記)	80%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	4単位		受講態度	20%
必修・選択	必修			授業時間数	60時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	60回			

授業コマ数	テーマ	内容
31 32	運動器系基礎問題	骨筋肉の構造と機能基礎問題　解答と解説
33 34	生活と運動について	生活の中での運動重要性について
35 36	眼の疾患と症状	白内障、緑内障、黄斑変性症等について
37 38	耳の疾患と症状	外耳、中耳、内耳の病気について
39 40	聴覚関連疾患と症状	聴覚異常と平衡感覚異常の疾患につい
41 42	神経系疾患について	中枢と末梢神経疾患について
43 44	神経系疾患の症状について	脳血管疾患、認知症について
45 46	内分泌系の病気について	ホルモンの過剰分泌と過少分泌の病気の症状①
47 48	内分泌系の病気について	ホルモンの過剰分泌と過少分泌の病気の症状②
49 50	内分泌系の病気について	糖尿病について(Ⅰ型2型　糖尿病)
51 52	泌尿器系の病気と症状	糸球体腎炎、尿管結石、膀胱炎について
53 54	泌尿器系の病気と症状	腎不全について　透析治療について
55 56	生活習慣病について	メタボリックシンドロームと肥満
57 58	精神の病気について	うつ病・双極性疾患、統合失調症について
59 60	病気と生活について	病気と運動と食生活について

科目名	栄養学	担当教員	松根　ひろ子			評価の方法	筆記試験	80%
実務経験授業科目 ○	病院にて管理栄養士として就業、食事指導及び給食管理業務の他、小学校の肥満児教室、地域高齢者対象に講演等を定期的に行った。						授業参加取り組み	20%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	後期	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	栄養の基本がわかる図解辞典(成美堂出版)							
授業概要	栄養の基本と損失を防ぎ価値を高める調理法を学ぶ。健康寿命延伸の為、免疫力促進・疾病予防になるバランス良好な食生活について学ぶ。フィトケミカル・サプリメントの役割と利用法を学ぶ。							
到達目標	栄養素の種類と機能が分かる。ライフステージ別食事・体の症状に合わせた食事が分かる。 機能性成分（食品）を知る。							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	食事と健康とのかかわり （食生活指針）	自分の食生活を振り返る（前日の食事の分析）
3 4	栄養素の理解（熱量素）	栄養素の働きと給源になる食品
5 6	栄養素の理解（体構成素）	栄養素の働きと給源になる食品
7 8	栄養素の理解（調節素）	栄養素の働きと給源になる食品
9 10	健康とは　身体の理解	健康の定義　身体構成成分（体は毎日の食事で作られている） 健康を阻害するもの　時間と栄養
11 12	身体の理解（消化吸収）	三大栄養素の消化と吸収とその後の行方
13 14	健康と食事①	健康を維持する食事　　食事摂取基準と食品摂取量 3色食品群の理解
15 16	健康と食事②	健康を維持する食事 主食+副食（主菜・副菜）でバランスを
17 18	ライフステージと食事	乳幼児期の栄養　青年期の食事　高齢者の食事
19 20	生活習慣病予防と食事	適正エネルギーの食事　　ＢＭＩの求め方 適正体重・適正エネルギーの求め方
21 22	健康づくりの運動と栄養	健康と運動と栄養の関係 運動に必要な栄養面での注意と摂り方
23 24	病態と食事①	肥満症・糖尿病と食事 エネルギー制限食・塩分制限食・脂質制限食など
25 26	病態と食事②	低栄養予防の食事
27 28	機能性食品とサプリメント食品	フィトケミカルと上手な利用の仕方
29 30	体の調子を整えるための食事	調子を整えるための正しいダイエット メタボリックシンドローム

科目名	応急処置	担当教員	菅原　一昭			評価の方法	実技試験	70%
実務経験授業科目							平常点	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	後期	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	２年	授業形態	演習	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	必要に応じて文献・資料を用意する。							
授業概要	一般的な救急処置と蘇生法について学んだ後、様々な応急処置についての理解を深め 将来の仕事に役立てるような知識・技術を習得する。また、身体の機能と運動の大切さについて理解をする。							
到達目標	緊急時、正しい救急処置と心肺蘇生法を行うことができるようにする。							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	ガイダンス 健康と運動について①	授業評価方法、スケジュール、スポーツ庁施策（スポーツの価値）
3 4	健康と運動について②	スポーツ庁施策（日常の中での動くを意識する）
5 6	生活習慣病対策について①	国民健康づくり
7 8	生活習慣病対策について②	障害者及び高齢者と運動
9 10	応急処置の重要性①	応急処置の目的・必要性、ドキュメント
11 12	応急処置の重要性②	応急処置の目的・必要性
13 14	応急処置の重要性③	気道確保、人工呼吸
15 16	応急処置の重要性④	ＡＥＤについて
17 18	特殊な傷病とその応急手当①	歯の損傷、毒蛇、けいれん、溺水など
19 20	特殊な傷病とその応急手当②	感電、凍傷、アキレス腱断裂、高熱、頭痛
21 22	特殊な傷病とその応急手当③	意識障害、ＲＩＣＥ処置、腹痛、やけど
23 24	気道異物除去	不慮の事故による死亡、窒息死の原因、背部叩打法、腹部突き上げ法 乳児に対する気道異物除去
25 26	傷病者管理	説明・実技「保温法・搬送法」「応急担架」「体位管理」
27 28	止血法①	止血法について、三角巾を使用した止血法
29 30	実技効果課題	心肺蘇生法（成人・小児）、ＡＥＤ 救急蘇生法（成人）実技試験

科目名	基礎美容学	担当教員	助川　春枝			評価の方法	筆記試験	70%
実務経験授業科目							受講態度	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	通年	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	2年	授業形態	講義 演習	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト、同2級対策問題集							
授業概要	化粧品の知識・使用方法の講義と、検定対策問題集を用いて検定対策を行う							
到達目標	化粧品につての知識を深め、日本化粧品検定2級に合格する							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	オリエンテーション 皮膚・肌について	自己紹介、検定試験に取り組む動機づけ、授業の進め方
3 4	皮膚・肌について	皮膚のしくみと働き・機能
5 6	肌の手入れと正しい知識	肌のタイプと肌の悩みについて
7 8	肌の手入れと正しい知識	ニキビ、シミ
9 10	肌の手入れと正しい知識	美白・ピーリング
11 12	肌の手入れと正しい知識	紫外線の影響
13 14	メイクアップの基本テクニック	メイク用品・道具
15 16	メイクアップの基本テクニック	肌悩みに応じたメイクテクニック
17 18	メイクアップの基本テクニック	肌悩みに応じたメイクテクニック
19 20	美肌・美ボディ生活	肌を老化させる要因
21 22	美肌・美ボディ生活	効果的なマッサージ
23 24	美肌・美ボディ生活	美しい肌をつくる生活習慣
25 26	テスト（検定）	検定に向けて弱点克服
27 28	まとめ	検定に向けて弱点克服
29 30	ワークショップ	せっけん作り

科目名	介護情報	担当教員	矢口　　怜			評価の方法	試験（筆記）	70%
実務経験授業科目 ○	介護福祉士として当該科目に関する業務に従事した経験がある教員が、介護の意義や役割、専門技術について講義を行う。						出席率	30%
対象学科	医薬品総合学科	開講時期	後期	単位数	2単位			
必修・選択	必修			授業時間数	30時間			
配当年次	2年	授業形態	講義	授業回数	30回			
テキスト・参考文献	社会福祉学習双書　介護概論　（社会福祉法人　全国社会福祉協議会）							
授業概要	新しい介護の考え方を理解するとともに、超高齢社会にある現在の高齢者介護の実情と社会的課題を知ることができるよう教科書を中心にグループワークや視覚教材を利用した学習を展開する							
到達目標	超高齢社会にある現在の高齢者介護の実情と問題点を知るとともに、介護の基本的な知識や技術を習得することができる							

授業コマ数	テーマ	内容
1 2	オリエンテーション	今後の授業についての理解
3 4	介護を取り巻く状況①	日常生活圏を基盤としたサービス提供についての理解
5 6	介護を取り巻く状況②	介護職員に求められる保健・医療の知識の理解
7 8	介護の目的	介護の歴史と介護の場
9 10	コミュニケーション技術	コミュニケーションの基本
11 12	生活支援技術の基本①	食事の介護
13 14	生活支援技術の基本②	清潔の介護
15 16	生活支援技術の基本③	排泄の介護
17 18	認知機能の低下した人の理解理解と支援	認知症の人を理解する
19 20	認知機能の低下した人の理解理解と支援	認知機能低下の原因疾患の基礎知識
21 22	福祉用具の実践的理解	福祉用具の利用体験を通して特徴を理解する
23 24	高齢者と家族等への支援の実際①	高齢者虐待防止の取り組みについて学ぶ
25 26	高齢者と家族等への支援の実際②	終末期ケアと家族等のケアについて学ぶ
27 28	高齢者と家族等への支援の実際③	終末期の介護について学ぶ
29 30	まとめ	本講義を振り返り、その要点をまとめ、介護情報の総括を行う 試験範囲などの確認

<table>
<tr><td colspan="2">科目名</td><td>実務実習Ⅳ</td><td>担当教員</td><td colspan="3">佐々　順子</td><td rowspan="6">評価の方法</td><td>実習報告書の評価</td><td>70%</td></tr>
<tr><td>実務経験授業科目</td><td></td><td colspan="5"></td><td>勤怠</td><td>30%</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象学科</td><td>医薬品総合学科</td><td rowspan="2">開講時期</td><td rowspan="2">前期</td><td>単位数</td><td>8単位</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">必修・選択</td><td>必修</td><td>授業時間数</td><td>240時間</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">配当年次</td><td>2年</td><td>授業形態</td><td>実習</td><td>授業回数</td><td>30日間</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">テキスト・参考文献</td><td colspan="8">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業概要</td><td colspan="8">ドラッグストアのインターンシップとして、４月～６月の各月８０時間の実務実習を行う。
毎月度の実務実習報告書（月報）を提出する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">到達目標</td><td colspan="8">ドラッグストアの知識、技術を身に付け、店舗の運営、医薬品等の情報提供を通して地域生活者の健康に貢献できる登録販売者を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業コマ数</td><td colspan="8">内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">30日間
(240時間)</td><td colspan="8">【ドラッグストアのインターンシップ】
1 社会人としての礼儀作法　・社員、スタッフとの連携を図るためのコミュニケーション
2 配属先店舗の組織、規律、仕事の流れ、各部署の役割理解　・接客応対（クレーム処理含む）
3 レジ業務（現金・カードの扱い、領収書発行、ポイント処理等）　・環境整備
4 主に一般用医薬品の販売に関する直接業務　・一般用医薬品販売時の情報提供補助またはその内容に関わる業務
5 一般用医薬品に関する相談対応補助業務またはその内容に関わる業務
6 一般用医薬品の販売制度の内容等の説明方法に関わる業務
7 一般用医薬品の管理や貯蔵に関する業務　・一般用医薬品の陳列や広告に関する業務</td></tr>
</table>